



# おおくわ

## 第143号

平成28年1月28日発行

発行 大桑村議会

議会報編集特別委員会

長野県木曾郡大桑村長野2778

電話 (0264)55-3080

# 議会だより



一年の願いを込めて 保育園で繭玉づくり

12  
月定例会

❄️ 議長年頭あいさつ .....	2
❄️ 一般質問 6名が登壇、村政を問う .....	6
❄️ 議員定数・議員報酬の実態 .....	14
❄️ 議員と語る会を開催します .....	15

# 迎春

## 年頭のごあいさつ

大桑村議会議長

岩佐 孝和

村民の皆様には、佳き新春を迎えられたことと拝察申し上げます。

村は今、笑顔と自然に包まれた美しい村と未来につなぐ『めぐみの郷』をキャッチフレーズにした平成26年度からの第5次総合計画を策定しました。村の課題である少子高齢化、支え合いによる安心安全な村づくりとコミュニティづくり、福祉の充実、若者の定住施策等と合せ、懸案の庁舎建設、大桑橋の架け替え事業も具現化しつつあります。

私ども議会としてもしっかりと精査して具申し、禍根を残さない事業とすべく、皆さんの声を届けながら進んで行きたいと考えています。

今年も議会に温かいご指導と叱咤激励を頂きますようお願いし、新年の挨拶いたします。



# 12月定例会

12月定例会は、12月15日から25日までの11日間の会期で開かれ、委員長報告、組合議員報告、議長報告、監査報告の後、請願1件、陳情2件を審議。一般質問（6名9件）が行われた。村長提出議案（条例改正2件、補正予算5件）が上程され慎重審議可決した。任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び同補充員選挙が行われ指名選挙により決定した。

## 補正予算審議

弓矢町下線改良事業及び砂防事業を翌年度に振替え

一般会計 1,870万円を減額 総額 35億4,649万円

※1

庁舎建設基金2千万円追加、「ウッドスタート事業」始まる

**Q** 国道改良に伴う安全措置は。

**A** 弓矢地区国道右折車線設置による一方通行に伴う村道大桑駅線合流地点の安全措置は。

**A** 弓矢ガード下との合流地点に停止指導線を設け、徐行運転を促している。安全確認しながら走行をお願いしたい。

**Q** 村営住宅修繕費用

**A** 村営住宅退去に伴う修繕費用として270万の計上があるが、退去時の修繕は退去者の負担ではないのか。  
**A** 退去時の修繕は退去者負担である。今回は、村が負担しなければならぬ修繕費用を計上したもの。

**Q** 法人村民税

**A** 法人村民税約1600万円の増額補正の内容は。

**A** 予定納税を含めた企業の業績による増額である。

**Q** ふるさと納税

**A** 本年度のふるさと納税の状況は。

**A** 7件で、県内3人、愛知県2人、埼玉県1人、神奈川県1人。

**Q** ふるさと納税が少ないのはお礼の品に魅力がないからではないか。村の特産品など検討すべきと思うが。

**A** 一人当たりの額が少額であり、現在は検討していない。

**Q** 除雪機購入補助

**A** 地区で除雪機を購入し、地域内の除

雪をしたいという住民に対し除雪機購入費用補助の検討は。  
**A** 需要があれば検討するが、現在は考えていない。

※1 暮らしの中に木を取り入れ、子どもをはじめとする全ての人が木の温もりを感じながら豊かな暮らしを創造していく取り組み。村では本年度から地元で製作した木のおもちゃを新生児にプレゼントします。

### 会計別補正状況

単位：万円

会計	補正額	総額	主な内容（歳出）	
一般会計	△1,870	354,649	庁舎建設基金追加	2,000
			国庫補助道路維持減額（橋梁長寿命化事業）	△1,769
			村単道路新設改良減額（弓矢町下線他）	△1,838
			資料館増改築に伴う備品購入費	316
村営水道事業特別会計	△3,344	24,438	木曾川右岸道路工事個所変更に伴う水道管移設工事費減額	△2,856
国民健康保険事業特別会計	18	42,017	保健基盤安定繰入金追加	325
			支払準備基金繰入金減額	△426
農業集落排水事業特別会計	△1,452	9,651	木曾川右岸道路工事個所変更に伴う下水道管移設工事費減額	△1,386
公共下水道事業特別会計	△177	10,130	村道下在阿寺線改良に伴う下水道管移設工事費減額	△177

# 委員会報告

## 総務社会 常任委員会

◎11月2日開催

全委員出席のもと視察調査を実施。村担当者及び各施設の担当者から説明を受けた。

### ▼調査の結果と概要

#### 1 視察調査

- ①宅老所あがらんしょ
- ②くわつこ工房
- ③地域の茶の間ますや
- ④サンシャインあてら
- ⑤宅老所しゃくくなげ
- ⑥大桑村デイサービスセンター

各施設とも職員や関係者が、施設利用者の現状を把握し、課題を持ちながら運営されている。今回、改正された介護保険制度の介護報酬引き下げによる影

響は、視察したような小規模の施設ほど大きく、今後の運営に不安を持っている。運営の厳しさがサービスの低下につながらないよう、今後も調査研究を続けるとともに、国や県に対しても要望活動を行って参りたい。又、空き家を利用して運営している事業所は、老朽化や利用者の増加による安全面の確保など、今後は修繕等

#### 2 社会福祉協議会との懇談

社会福祉協議会長、事務局長、各施設長から施設の利用状況等について説明を受け、村の福祉について懇談を持った。

(報告者 鈴木 武)



宅老所「あがらんしょ」で懇談

## 経済建設 常任委員会

◎10月29日開催

#### 1 視察調査

##### ▼越百川第3砂防えん堤工事

現地を視察し、多治見砂防国道事務所副所長より進捗状況やえん堤の概要について説明を受けた。5年後の平成32年度の完成を目指している。透過性のハイドラムで、東洋一の最大級のものとなる。

##### ▼木曾川右岸道路登玉トンネル工事及び境の沢橋梁工事

登玉トンネルは、正式名称「境の沢トンネル」となった。平成28年度末完成予定。右岸道路登玉和村間は、全体の約半分の進捗状況。



越百川第3砂防堰堤を視察

##### ▼村道下在阿寺線道路改良工事

全体延長389mで、完成は本年度3月の予定。

#### 2 直轄砂防工事計画(直轄事業)

来年度の着工となる伊奈川第1砂防えん堤、下洞沢は地権者説明会が終了。太田第1砂防えん堤は、用地補償が進められていく。

下在砂防工区の深沢宮の沢、中河原沢も調査が進められている。(県事業)

門前の急傾斜地が今年度事業化され、平成30年完成予定。和村地区の大沢の砂防えん堤については、下流に避難路が指定され、今後工事に向けた進捗が期待できる。

(報告者 沼 友行)

# 庁舎建設特別委員会

◎日時 10月9日

## ▼新庁舎における議場

新庁舎の議会関係施設について、意見交換を行った。

議場は専用でなく会議室と兼用にすべきという意見でまとまり、議会活動を活発にするために、議会関係資料の充実等についても協

議した。今後、庁内検討委員会でもとめ、庁舎建設検討委員会に提出していく。

## ▼庁舎建設について

9月30日に視察研修を実施した愛知県設楽町庁舎、飯田市役所庁舎について感想を述べ、庁舎建設全体について協議した。庁舎全体については、アクセ

ス道路の整備計画、防災拠点としてのあり方、文化施設としての多目的ホールの規模、中央公民館、保健センターの跡地利用、図書館等について協議した。

◎日時 12月24日

## ▼施設の規模・機能

庁内検討委員会の検討結果をもとに協議し

た。玄関ホール、会議室、多目的ホール、図書館等、規模・機能について説明を受けながら意見交換を行った。巨額の予算を投じて事業が執行される庁舎建設について、村民の負託に答えるためにも議会として今後も庁舎建設にかかわる諸問題の調査、検討を重ねていく。  
(報告者 下起幸一)

# 議員6人が 村政を問う

12月定例会の一般質問は15日に5名7件、16日に1名2件を行いました。次ページより、質問議員が要約したものを掲載します。

## ◆一般質問とは◆

一般質問は、村が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

## ・質問時間は30分

大桑村議会では、議員が質問できる時間は答弁を含め1件30分以内です。

## ・一問一答方式

質問は、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

## ・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。



委員会の様子

# 質 問



古畑 昌夫 議員

## 高校募集定数の見直しを

教育の機会均等が必要  
不公平があってはならない

**Q** 木曾青峰高校の普通科の募集定数が、今年度から一クラスに減らされたことをごどのように受け止めておられるか。

**A** 高校の進学について、木曾は県全体に比べ選択肢が狭いため、昨年、「木曾の2校存続と募集定数の維持」を要望しようとした矢先に、県教委から募集定数削減の発表があり、木曾の教育7団体で申し入れをした。



中学校テスト風景

**Q** 事前の説明もない突然の定数削減は異常であり、関係者の戸惑いと不安は計り知れない。7月に行った木曾の町村議員総会では、木曾の2高校の存続と募集定数の見直しを求める決議を行い、8月に結成された「木曾の教育を考える会」も申し入れをするといわれている。その後に行われた、中学生のアンケート調査の結果は、

**A** 今年の夏に、木曾の全中学生を対象にしたアンケート調査が行われ、大桑中学校では92名が回答し、卒業後の進路では木曾青峰高校への希望が68%、蘇南高校が13%などとなっており、木曾青峰高校の希望者の半数近くが普通科を希望している。

**Q** 憲法は、「すべて国民は、法律の定めるところにより、そ

の能力において、ひとしく教育を受ける権利を有する」(26条)と明記されているがどうか。

**A** 高校教育法でも、高校教育の機会均等がうたわれており、山村僻地だからと不公平があってはならない。

**意見** 議会、行政、教育委員会、PTA、地域が丸となって、木曾の教育を守る運動を起こすよう訴えたい。

**Q** 庁舎建設における大桑村の「文化」の位置づけは。

**A** 総合文化施設や生涯学習関連施設の整備、文化芸術の充実に、村総合計画の理念を引き継いでいる。

**意見** 社会教育法の内容を生かし、大桑村の文化の発展に資するような図書館やホール建設を求めたい。



スポーツ公園の施設を利用した現在の図書室

# 般

## Q&A 村政を問う



鈴木 武 議員

庁舎建設のスケジュールに  
ゆとりを  
スケジュールに捉われず  
住民の総意を大切にしたい

**Q** 当村への居住を目的とした、「おためし居住者募集事業」について、経過の状況と今後どのように事業展開を図ろうと考えているか。

**A** 埼玉県と岐阜県在住の2組が体験された。居住を希望された場合は、空き家バンクの情報や村営住宅の空き情報等を提供したい。

**Q** 平成26年度事務事業評価に関して

**A** 庁舎建設に関して、村政懇談会でも多くの意見が出された。

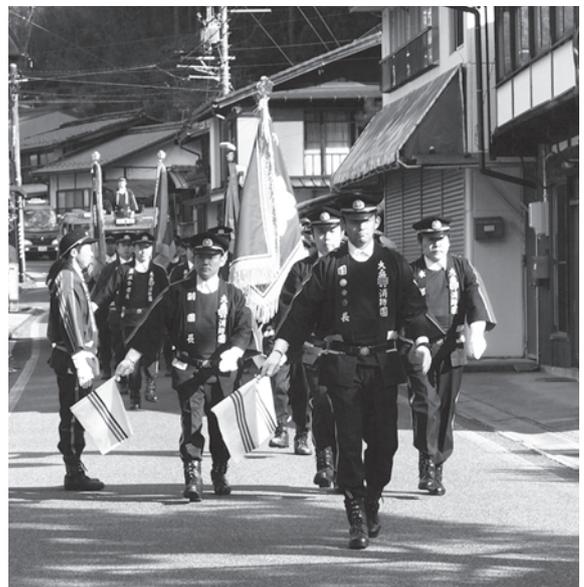


新庁舎建設予定地（旧大桑小学校）

**A** 重要なのは、多くの人々が納得できる庁舎を造ることであり、そのための議論を尽くすこと。スケジュールありきではない。

**Q** フォレスパ木曾の指定管理者募集が行われている。状況は。

**A** 現在運営している事業所と新規の事業所の2社が手を挙げている。今後の動向を見ている状況である。



新団旗の下 出初め式

**Q** 消防施設について、3分団2号ポイント小屋の建設が未着工の状態のまま1年以上経過している。必要な施設と思うが、進捗状況は。

**A** 当初の予定場所は、下在郷分館の建設との兼ね合いから建設が不可能となり、新たな用地を探しているが見つかからない。団員の減少問題もあるため、改めて消防団と協議を重ね決定したい。

**Q** 雇用住宅について、契約率96%と利用率が高いが、老朽化が進んでいるので、新たな契約を止め、解体をして有効活用を進める計画であるが、どのように活用を図っていくのか。

**A** 修繕不能な老朽住宅については、除却して宅地として定住化に向け有効活用したい。

# 質 問



木戸 勘一 議員

## 移住促進事業の進め方は 移住希望者の関心を高め 進めたい

**Q** 地方創生移住促進事業として、須原本町の雇用住宅を使用し「おためし居住」を行ったが、応募人数は。

**A** 3組の応募があり、2組4人を受け入れた。

**Q** 募集方法と費用は。

**A** 募集は、村のホームページに掲載、全国版月刊情報誌2誌への掲載、チラシ2千部を銀座NAGANO、村内の道の駅等に配布した。費用は情報誌掲載92万8千円、チラシ印刷3万円で交付金を当てる。

**Q** 滞在期間の個人費用は。

**A** 体験者個人の費用は、交通費と滞在期間中の食費である。

**Q** 体験時期が11月から12月であったが、紅葉時期等村をアピールできる時期になれば、より多くの応募

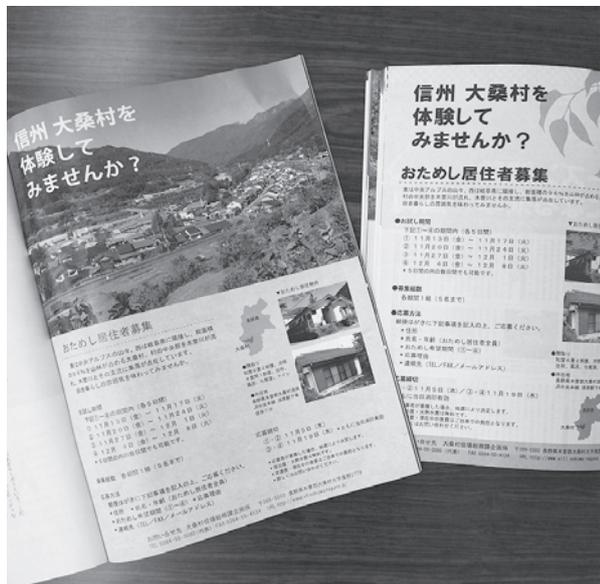
があつたのではないかと

**A** 交付金で住宅改修を行い、募集方法を検討しながら今回の時期となった。

**Q** 移住希望者が村内で住居を探す手段は。

**A** 希望者の意に沿えるよう取り組んでいく。

**意見** 今後、おためし居住事業を継続する場合は、場所や時期等を見直して移住につながる事業とすべき。



「おためし居住事業」を掲載した情報誌

**Q** 空き家バンクの登録状況は。

**A** 平成23年より26件の登録があり、22件の契約が成立、現在4件の登録がある。

**Q** 特定空き家の現在の状況は。

**A** 特定空き家は13件。そのうち、喫緊で対策を講じなければならぬ物件が3件あり、現在調査中である。条例による指導、助言まで進んでいない状況である。



「おためし居住事業」を実施した雇用住宅（須原本町）

**Q** 村内3カ所の危険家屋に対し、近隣住民への具体的な不安解消対策は。

**A** 条例に緊急代行安全措置があるが、所有者不明であると費用の請求ができないため、公費負担となる。所有者調査を急いでいる。

**意見** 危険状態が今後も放置されることがないよう、早急の対応を望む。

# 般

## Q&A 村政を問う



瓜尾美佐子 議員

### 小規模事業所への支援を

支援できることは  
していきたい

**Q** 今年の4月から、介護サービスを提

**A** 供する事業所や施設に支払われる介護報酬が大幅に引き下げられたことで、村内の介護施設や事業所への影響は、特に小規模事業所ほど、引き下げの影響できびしくなっている。

**Q** 高齢化が進む中、地域で安心な居場所を提供する小規模事業所や地域の茶の間などへ自治体として



委員会で福祉関係施設を視察（ますや）

と支援できないか。

**A** すでに施設によっては固定資産税の減免などしているが、今後も支援できることはしていきたい。

**意見** 宅老所については県に対しても独自の支援を求めること、村としては水道料の減免として基本料金の引き下げの検討を求める。

国の医療介護総合法では、要支援1と2の方が利用している訪問介護と通所介護が介護保険の給付から外され、木曾広域連合では29年度から町村の総合事業へ移行される。どのように準備をすすめているか。自治体の責任で現在のサービスを利用できるようにしたい。

**A** 事業は包括支援センターが主体となって実施するが、社協へ委託するなど、これまで通りのサービスが受けられるようにしていく。

**Q** 家族と同居はしていても、昼間は一人で過ごさなければならぬ日中独居老人の対策は。

**A** 緊急時の医療キット配備の拡大をすることはできる。

**Q** 高齢者の足の確保として行っている通院や買物弱者へのタクシー券交付の他に、現状の循環バスを小型化し、もっと有効に運行できるような工夫改善ができないか。

**A** 村の地域公共交通検討委員会で、検討をしていく計画である。



救急医療情報キット

# 質 問



水野 進 議員

## 今後の村政推進に関わる

### 村長所信について

#### 情報共有と協働による

#### 村政を推進

**Q** 村政運営2年目の公約の反映は。

**A** 総合計画初年、25年度から計画通り

進めている。ただ、人口の急減・高齢化や土石流災害の状況から新たな対策が必要と考える。

**Q** 第5次総合計画の進捗状況は。

**A** ▼子育て支援等では、保育園長の常勤配置と保育士増員、第3子保育料無料化、給食費免除、雇用住宅跡地の分譲化等を進めている。

▼産業振興では、遊休荒廃地管理システムの構築、プレミアム商品

券、松くい虫対策、電気自動車充電装置設置、官行造林持ち分買取、野尻駅前トイレ整備、

▼安心安全な村づくりでは、「防災のしおり」、防災無線デジタル化等計画通り進んでいる。



手遊びをする園児

#### 意見

産業振興の面で、試行・評価・定着のサイクルが、うまく機能していないように思う。厳しい時代を乗り越えてきた知恵と若い力を活かした、育てる仕組が必要と思う。

**Q** 状況変化への対応に、計画の修正変更は必要と思うがどうか。

**A** 人口減少に定住化施策は最優先である。高齢化率39%で、福祉面でも保健師1名を増員し、「健康長寿



野尻駅前に完成した公衆トイレ

の村」を目指す。県の支援を得て災害対策も進めたい。今後、庁舎建設を含め、優先度やスケジュールを決め進めて行く。

**Q** 6月議会で「あてら荘」への指定管理者制度導入を提言した。現在、「フォレス

パ木曾」の指定管理者募集中で、2社が応募中と聞くが、募集要綱の内容決定は。

**A** 類似施設を参考にした。管理委託費は出さないことを基本

に、柔軟に対応したい。債務処理については、新規の企業が指定管理者となった場合はその債務は村が買い取る。

**意見** 今までの村の援助に頼る運営打破への一歩と評価したい。

**Q** 今後への所信は。

**A** 協働による安心安全な村づくりが基本であり、議会・村民と情報を共有し、負担に定めるため、責任を持つて施策を提案したい。



# Q&A 村政を問う

# 般

細田 光一 議員

あてら荘を村直営にする  
考えは

直営の考えはもっていない

**Q** 公募中のあてら荘指定管理者は今日まで何社の応募があったのか、また12月11日の説明会は何社の参加があったのか。

**A** 現在2社である。11日予定の説明会は参加者の都合で中止した。

**Q** 応募締切日までに他社からの応募見込みは有るのか。

**A** 今までの2社以外特に動きはない。



指定管理の期限が迫るあてら荘

**Q** 平成28年度以後のあてら荘の維持管理及び経営について行政側の基本姿勢は。

**A** 応募要項にも示しているが、経営赤字になっても補填はしない。現実的にはそれが可能か否かわからないので申請書を出して頂きプレゼンテーションなどを開き協議の中で決定していく予定。

**Q** それは公募要項の内容に変更もあり得ることか。

**A** 変更もあり得る。質問事項も頂いておりその内容は公募要項と異なる項目もあるので相談しながら決定していきたい。

**Q** 過去3年間の(株)あてらからの補填費用が年平均2400万

円(毎月200万円)発生している。この事実に対し補填なしで経営が成り立つとはとても思えない。村直営にする考えはないのか。

**A** 村直営の考えはもっていない。仮に平成28年度4月以後もこれまで同様、(株)あてららの経営とした場合、社長は貴舟村長、他に役員2名

は役場職員であることから、意思決定及び責任の所在が不明確となってしまうため是非とも村直営とすべきではないか。

**A** (株)あてららは100%村の出資会社ではあるが指定管理者という事で民間の力を借りる意味もあり村直営は考えていない。



あてら荘ロビー

# こんなことが決まりました

## 行政手続きにおけるマイナンバー利用に関する条例制定など可決

### 条例

●行政手続きにおける個人を識別するための番号の利用に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例制定

法律に規定する事務のうち、大桑村が利用する個人番号に係る事務を定める条例制定  
●国民健康保険条例の一部改正

### 請願

●「集団的自衛権」行使を具体化し、競争につながる安全保障関連二法のすみやかな廃止を求める請願

### 請願団体

大桑9条の会

### 紹介議員

会長 新床 悦郎  
瓜尾美佐子  
沼 友行  
古畑 昌夫

### 結果

反対多数 不採択

### 陳情

●私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書

### 陳情団体

中信地区私学助成推進協議会  
会長 吉原 ゆかり

### 結果

全会一致 採択

### ●介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情

### 陳情団体

長野県医療労働組合連合会  
執行委員長 小林吟子

### 結果

全会一致 採択

### 発議

●議会会議規則の一部改正

### 提出議員

古畑 昌夫

### 賛成議員

鈴木 武  
沼 友行

### 結果

全会一致 可決

### 人事

●選挙管理委員会委員及び補充員選挙

左記の者を指名選挙により決定。任期は平成31年12月20日までの4年間

### 委員

茶屋町 登玉 二朗氏  
大島 平島 貞雄氏  
横町 金澤 省五氏  
上町上 各務 論 氏  
(野尻)

### 補充員

下条 東野 幸夫氏  
弓矢下 古瀬 直史氏  
和村上 邑松 節子氏  
新田二 山本 秀樹氏

### 定期監査報告

#### 監査所見(抜粋)

平成27年度上半期定期監査を11月に実施。一般会計並びに特別会計の監査対象事務事業から21件を抽出し監査を行った。

(1) 主要事業、委託事業、負担金補助及び交付金の執行状況

工事関係書類については、全体的によく整理されている。現場においては、各事業が適正に竣工されており、問題点等は見受けられなかった。

#### (2) 税等の滞納処理

収納率が全ての税種において昨年同期を上回り、徴収努力が見られた。納税者数が平成27年度1993人と平成20年度から160人減少しており税収の先細りが危惧される。更なる収納対策の推進を望む。

### (3) 未着手事業

22件の未着手事業については年度内に執行できるものと判断できている。

### (4) むすび

一般会計・特別会計ともに適正に処理され各事業が円滑に推移していると判断した。下半期も引き続き努力されたい。

同 水野 進  
監査委員 奥田斗生

(会計別予算執行状況)

会計名	予算額(万円)	支出済額(万円)	執行率(%)
一般会計	361,578	148,869	41.2
村営水道事業特別会計	27,781	8,792	31.6
国民健康保険事業特別会計	42,029	17,406	41.4
農業集落排水事業特別会計	11,103	5,112	46.0
公共下水道事業特別会計	10,307	6,215	60.3
後期高齢者医療事業特別会計	6,386	3,117	48.8
計	459,184	189,511	41.3

# 行政報告

## ○旭化成建材(株)データ改ざん問題

旭化成建材(株)が杭打ちをした全国3040ヶ所の物件について国交省が情報提供を求める命令を出したところ大桑保育園の新築工事に旭化成建材(株)の杭工事が含まれていた。建設工事が確認調査を行った結果規定に基づき正確に施工されているとの報告書を受理した。

## ○大桑村総合戦略策定

少子高齢化や人口減少に歯止めをかけ、国と地域が一体となり地方創生に取り組む「まち・ひと・しごと」創生法に基づき村の目指すべき方向性と、人口の将来展望を示した人口ビジョンの策定及び今後5ヶ年の施策目標をまとめた大桑村総合戦略を作成すること

なり、7月に住民アンケートを実施。10月23日に第1回総合戦略策定委員会を開催し、3月の策定を目指す。

## ○地方創生移住促進事業

地方創生先行型事業として移住促進を図るため、雇用住宅を改修し「おためし居住体験」事業を実施。11月から12月にかけて埼玉県より1人、岐阜県から3人が体験事業に参加した。

## ○村政懇談会について

11月に村政懇談会を4か所で開催し、述べ74人の参加があった。村からは総合計画に沿った事業と財政状況、新庁舎建設、大桑橋建設等について説明し懇談会形式で意見や質問、要望等を受けた。内容は広報でお知らせする。

## ○村道大桑駅線通行規制

国道改良工事で右折車線が供用開始となり、村道大桑駅線の通行規制が始まる。改良工事に伴う橋梁下の護岸工事の遅れで、予定していた村道弓矢下線改良拡幅工事は来年度事業となる。



国道と大桑駅線合流地点

## ○中津川市、下呂市、木曾郡6町村による災害時相互応援に関する協定を締結

10月6日、中津川市、下呂市、木曾郡6町村が、災害時、県境を越え連携して広域消防体制を確立するため必要な事項を定めた協定を締結した。

# 組合議会報告

## 木曾広域連合議会報告

○開催日 11月30日

○場所 木曾文化公園

### ▼定例会

### 統合ごみ処理施設整備費分担金負担割合を条例で規定

定例会議では、一般会計補正予算など議案4件、承認1件が上程され、審議の上全て採択された。主たる議案内容は、分担金条例の負担割合に関して、統合ごみ処理施設の施設整備費分担金の負担割合として、平均割20%、人口割80%を追加。一般会計では、インターネット回線の帯域を拡大し利便性向上に向けたシステム改修費、道路点検個所の増加によ

り、測量調査設計委託料の増額等、620万円の追加補正。介護保険特別会計では、マイナンバーに伴う番号制度対応システム改修費等、70万円の追加補正。

### ▼全員協議会

### 介護保険料滞納対策を協議

新ごみ処理施設建設に関しては、計画通りに進んでいること。介護保険料の滞納対策及び不納欠損実施までのスケジュール等の説明及び報告を受けた。(報告者 鈴木 武)

### 施設を一元管理する総合相談窓口が本格稼働

11月定例会の主な議事内容は、平成26年度同組合の一般会計決算認定及び同年度の組合事業報告。平成26年度は地域の介護ニーズに添えていくための入所定員の見直しと空きベッドや待機者情報などを一元的に管理し、総合相談窓口の本格稼働に向けた準備を進めてきた。財務収支面では、実質単年度収支が4年ぶりの黒字となったものの、ますます厳しさを増す経営環境の中で、更に効率的な組合運営を目指し努力していく。(報告者 細田光一)

## 松塩築木曾老人福祉施設組合議会報告

○開催日 11月9日

○場所 塩尻市保健センター

# 議員定数と議員報酬の 実態を報告します

— 議会運営委員会より —

## ▼議員定数・議員報酬

昨年、9月定例議会に選後、9月定例議会に議員定数と議員報酬削減の条例改定案が提出されました。議会運営委員会は、全国の町村議会の実態をまとめ議事に報告することを確認。議会事務局の協力も得て、県内と木曾の町村議会の実態も含めて、12月定例議会に報告しました。大桑村の人口と議員定数の推移もまとめ、下記に記載してあります。定数削減と報酬削減の条例改定（案）の発議は、いずれも他の議員の賛同がなく否決されました。

### 木曾郡町村議員報酬・議員定員比較

町村名	大桑村	木曾町	上松町	南木曾町	木祖村	王滝村	木曾郡
議員定数	10	14	10	10	10	6	60
議員の実数	10	14	10	9	10	6	59
定員当たりの人口	400	858	490	450	309	139	489
定数当たりの世帯数	155	360	219	182	113	66	202
町村の人口	4,008	12,022	4,902	4,507	3,095	839	19,373
世帯数	1,558	5,044	2,191	1,820	1,138	397	12,148
1世帯当たりの人数	2.5	2.3	2.2	2.4	2.7	2.1	2.4

町村名	大桑村	木曾町	上松町	南木曾町	木祖村	王滝村	平均	
議長	242,000	257,000	240,500	235,000	243,000	226,700	240,700	
副議長	169,000	176,000	164,900	163,000	166,000	155,500	165,733	
常任委員長	156,000	162,000	155,200	147,000	155,000	138,800	152,333	
議員	149,000	155,000	145,500	143,000	150,000	132,700	145,867	
参考	長野県の58町村平均 (平成26年4月1日)							167,780
	長野県の人口5千人未満の町村平均 (平成26年4月1日)							144,150
	参考：全国町村平均 (平成26年4月1日)							210,449
	全国5千人未満の町村平均 (平成26年4月1日)							174,005
政務活動費	-	-	-	-	-	-	-	

### ○大桑村の人口と議員定数の推移 (人)

年度	人口	議員定数	議員1人当り人口
2015	4008	10	401
2003	4696	14	335
1991	5200	16 (15)	325 (347)
1979	5764	18	320
1965	8022	22	365

※ (数字) は実数

### ○議員定数と議会事務局体制 (町村) (人)

	大桑村	長野県平均	全国平均
議員定数	10	11.3	12.4
議会事務局職員数	1.5	2.0	2.5

### ○議員報酬 (対町村長給与比) (%)

	議長	副議長	委員長	議員
大桑村	34.8	24.3	22.4	21.4
長野県平均	40.4	29.6	27.5	26.2
全国平均	41.8	33.9	31.4	30.7

### ○議会費 (2014年度当初予算)

	議会費当初予算 (千円)	予算総額に対する比率 (%)
大桑村	48,949	1.37
長野県平均	51,828	1.64
全国平均	84,840	1.28

## ▼議会の資質向上を目指して

大桑村議会は、平成23年(2011年)3月の定例議会で、「大桑村議会基本条例」を制定しました。これは、全国の先進などを参考に、2年近い議論を重ねて、木曾では最初にまとめ制定したものです。この条例は、地方の首長と議員

## ▼一般質問のあり方を検討

12月定例議会前の議会運営委員会では、ケーブルテレビで録画放送されている一般質問のあり方についても検討し、全議員の意見を聞いて、3月定例議会から実施するよう議会運営委員会でもまとめられることになりました。(報告者 古畑昌夫)

# 議会活動日誌

9月	活動内容	27日	28日	20日	24日	30日
15日	9月定例会 議会報編集特別委員会	県町村議長会定期総会	木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会要望活動(長野市)	木曾広域議会議運・総務・経済観光常任委員会	木曾南部直轄砂防推進協議会 要望活動(~25日・東京)	木曾広域連合議会定例会
18日	9月定例会	29日	経済建設常任委員会 大桑村猟友会総会			
27日	御嶽山噴火災害犠牲者追悼式(王滝村)					
29日	県議長会各分会・全体研修会(長野市)	11月	活動内容	12月	活動内容	
30日	庁舎建設特別委員会(飯田市・愛知県豊田町視察)	2日	総務社会常任委員会	4日	県境近隣市町村議会議長会要望活動(多治見市・飯田市)	
10月	活動内容	3日	大桑村表彰式		(株)H1ターボ視察・懇談会(新町工場、木曾工場)	
2日	林政懇談会	5日	愛知中部水道企業団交流会(木曾町)	8日	議会運営委員会	
6日	議会報編集特別委員会	9日	松塩筑木曾老人福祉施設組合議会11月定例会			
7日	監査委員研修(~8日・東京)	10日	村長杯争奪野球大会閉会式及び表彰式			
8日	表彰審査委員会	11日	町村議会議長会全国大会			
9日	庁舎建設特別委員会 女性消防隊激励	12日	森林環境税創設促進議員連盟正副会長会議・要望(~13日・東京)			
14日	全国女性消防操法大会(~15日・横浜市)		中部地方整備局、多治見砂防国道事務所要望活動(名古屋市・多治見市)			
15日	議会報編集特別委員会		長野県地方自治政策課題研修会(長野市)			
19日	木曾郡議員総会決議事項 要望活動(飯田市、名古屋市)	13日	木曾広域議会総務環境委員会			
20日	木曾南部土砂防災NW議員連盟総会	18日	中部国道協会定期総会(~19日・東京)			



11月12日麻生大臣に要望

## 「議員と語る会」を開催します

村民の皆様から、議会に対するご意見や庁舎建設、村政に対する提言等を伺い、より開かれた議会を目指すため、議員と語る会を下記のように開催いたします。お近くの会場に是非お越しください。

日時	開催場所	日時	開催場所
1/23 14:00~	新田集会所	2/6 13:00~	中分館
1/25 19:00~	野尻地区館	2/6 13:00~	上郷分館
1/30 13:00~	西分館	2/6 15:30~	和村分館
1/30 16:00~	橋場分館	2/6 16:00~	東分館
1/31 13:00~	弓矢分館	2/7 13:00~	大島分館
1/31 16:00~	殿分館	2/7 13:00~	伊奈川分館
2/1 19:00~	下在郷分館	2/7 15:30~	須原地区館
2/5 19:00~	野尻向分館	*2時間程度を予定しています。	

テーマは...

庁舎建設と村づくり



議員が地区ごとに分かれて伺います。



# サークル紹介 第8回

## 大正琴 いとせ会



気軽に持ち運べて皆と音楽が楽しめる「大正琴」は、主婦層を中心に30年程前からブームになりました。「いとせ会」を立ち上げ、福島在住の宮下先生が主催する「大正琴を奏でる会」に参加し、昨年5月には35回目の発表会を行いました。この発表会は、

一年間の練習の区切りとして大事な行事となっております。曲目は、懐かしい童謡から歌謡曲、フォークソング、若者が興味を持つてくれる現代の曲まで、幅広いレパートリーを練習し、先生の素晴らしいアレンジが一層琴を楽しませてくれます。また、根気強く指導していただくおかげで練習が楽しみになり、練習後のお茶飲み会は情報交換の場にもなっています。練習は隔週火曜日、1時から須原地区館で行っています。車での送迎もしますし、入会、見学も随時受け付けますので、お気軽に声をかけて下さい。

(代表) 杉村 美鈴

## 作品介绍 10



### 「太陽」

野知里 有香 細田 陽太  
森畑 凌汰 藤懸 真帆  
(森のピエロの子どもたち)

太陽と光をどのようにあらわすか考えて描きました。30cm×30cmのパネルに油絵具で描きました。

### 編集後記

▼年々歳々、日々新たなり。

▼古希を迎え、自然現象に限らず、社会的事象までもが、時間とともに変化する様を見ていると、進歩と後退の両方を感じます。  
▼大桑村は、どうなっているのだろうか？と不安も湧きます。

▼こんな中、次世代に伝え残し、役に立ちたい、との思いから、「世代間リレー」のよう

に、少しでも、何らかの形として残して行きたいとご尽力される方々もおられます。

▼私達も、活動や議会だよりの紙面を通して、リレー機能を果たせるよう頑張りたいと思います。

▼本年が、良い年でありますよう、ご祈念申し上げます。(水野)

委員長 木戸 勘一  
副委員長 瓜尾美佐子  
委員 沼 友行  
水野 進  
大前今朝男